

3年生学年だより

令和4(2022)年12月9日
第39号
吹田市立第二中学校第三学年

76期生 卒業に向けて

2022年も残り約1か月。

進路選択のリミットが間近に迫り、受験期真ただ中の3年生。入試に向けてのカウントダウンとともに、二中で過ごす残り日数も、日に日に減っています。

残り約3か月の二中生活で、みんなは自分で進むべき路（進路）を選択します。

私立入試、公立入試と、目まぐるしく時間は過ぎていくでしょう。

受験に向き合い、がむしゃらに勉強する一方で、自己申告書等を書きながら二中での日々を思い出すと、なんだかしみみりしてきますね。

あんな行事もあったな・・・

こんなおもしろいこともやった・・・

失敗したことも、うまくいったことも、懐かしく思い出されて。

これだけたくさんの思い出を抱いて、みんなはどんな姿で卒業していくんだろう？



有終の美を飾る、中学校生活最後の行事

みんなの中学校生活は、常にコロナ禍の中でありました。入学前の長期にわたる休校や、

変則的な登校、部活動の停止やマスク着用、黙食、授業内での活動制限・・・

何かと規制が多かったけれど、そんな中でもみんなは前向きに行事を楽しんできました。

どんな行事も全力で取り組み、前を向いて突き進んできました。

やれないことを嘆かず、規制の中でもやれることを全力で。

そんなみんなが、学年として最後に作り上げるのが「第76回 卒業式」です。

この卒業式は、みんなにとって小学校の卒業式とは大きく違うところがあります。

それは、義務教育を修了し、社会に旅立っていく、けじめとなる式だということです。

今までお世話になった保護者の方々や、地域の方々、在校生、先生方への感謝の気持ちを伝え、大きく成長した自分を披露する中学校最後の行事。

みんなはどんな卒業式にしたいですか？

76期生が一つになる

この3年間、在校生が卒業式に参列することができなかったから、みんなは二中の卒業式を見たことがないよね。先生たちは、そのみんなの代わりに先輩たちを見送ってきましたが、どの学年の卒業式も、心のこもった温かい式でした。

そして、コロナ禍前の卒業式では、先輩たちは必ず「卒業生の歌」として、心のこもった合唱をしてきました。これは、「卒業生の言葉」と並んで、卒業式最大の見せ場でした。

時間が許すなら、自分を支えてくれたすべての人たちに、直接、言葉でお礼を言えればいいけれど、なかなか難しい。その代わりに思いを伝える手段となるのが、卒業の歌。

76期生のみんなには、今までの先輩たちに負けないくらい、気持ちの伝わる式を作ってほしいと思っているし、作ることができる。修学旅行のレクの楽しそうな雰囲気、文化祭の学年劇のクオリティ、カーテンコールや体育祭で見せたあの一体感。

3年間あなたたちを見てきた先生たちからすれば、卒業式が素晴らしいものになることは鮮明に想像できます。

そんな卒業式で、76期生みんなには中学校生活3年間の成長を表現してほしい。

受験勉強と並行しての取り組みになるので、たくさんの時間をかけることは難しいけれど、二中生として最後の作品を、みんなの力で作り上げてほしい。

難易度の高い歌や、高度なハモリなんて、無理かもしれん。でも、みんなで一つのものを作るっていうことを、最後にもう一度経験してほしい。やり遂げてほしい。

もちろん、今後のコロナウイルス感染拡大の状況によっては、卒業式の時間や参列者、内容が制限される可能性もあります。練習を始めたはいいけれど、途中で歌えなくなるかもしれません。

でも、もしそのような制限がないなら、みんなは、どんな歌声を聞かせてくれますか？

76期生みんなの、歌声が聞きたい。